

## 愛媛県宇和海および瀬戸内海沿岸で得られたアミダコ

後藤直登<sup>1</sup>・清水孝昭<sup>1</sup><sup>1</sup>愛媛県農林水産研究所水産研究センター写真1 *Ocythoe tuberculata* アミダコ (左:背面, 右:腹面, いずれも2022年5月26日収集個体)

## 種の記録

Ocythoidea アミダコ科

*Ocythoe tuberculata* Rafinesque, 1814

アミダコ (写真1)

標本 [宇和海]: 採集年月日: 2022年5月26日, 宇和島湾, 旋網 (全長 636 mm, 外套膜長 214 mm); 2022年6月8日, 宇和島市遊子明越沿岸, 掬い網 (全長 698 mm, 外套膜長 218 mm); 2022年6月11日, 宇和島市遊子沿岸, 掬い網 (全長 613 mm, 外套膜長 204 mm). [瀬戸内海]: 2022年6月17日, 伊予市沿岸, 小型底曳網 (全長 617 mm, 外套膜長 189 mm). (標本はすべて著者らが保管)

## 種の特徴

体は暗赤褐色で, 腹面は白色味を帯びた淡褐色. 外套膜は卵円形で, 腹面には肉質の畝が網目状に走る. 鰭および腕膜を欠く. 腕の吸盤は二列.

## 備考

個体はいずれも大きさから雌と推測される. 本種は日本国内では太平洋側の暖海域に分布する (窪寺, 2000). 標本が得られた同年5月には大分県でも定置網による本種2個体の混獲が新聞報道されており, 豊後水道から瀬戸内海にかけて来遊量が多かった可能

性がある. 愛媛県における頭足類の分布については情報が限られているが (森川, 1952; 稲葉, 1983), これまで本種の明らかな記録はなく, 本報告は愛媛県宇和海および瀬戸内海域における初記録である.

## 謝辞

標本を提供いただいた近藤 弘氏, 田中久仁氏, 福島久光氏に感謝の意を表す.

## 引用文献

- 稲葉明彦. 1983. 増補改訂 瀬戸内海の生物相 I (軟体動物). 広島大学理学部付属向島臨海実験所, 広島, 182 pp.
- 窪寺恒己. 2000. アミダコ科. 奥谷喬司編, 日本近海産貝類図鑑, p. 1089. 東海大学出版会, 東京.
- 森川国康. 1952. 海産動物目録 2 愛媛県産軟体動物目録. 愛媛大学教育学部生物研究会, 22 pp. (謄写刊).

(2022年8月18日受理, 2022年8月27日公開)

連絡先: 後藤直登 (e-mail: goto-naoto@pref.ehime.lg.jp)  
(Naoto Goto and Takaaki Shimizu. 2022. Four new records of *Ocythoe tuberculata* (Ocythoidea) from Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 22005)